

問1	日本の司法制度において、主権の行使の一環として行われる「国民審査」の説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 地方自治体において、特定の重要な事項について住民が直接その賛否を投票によって決定する仕組み。	2. 衆議院議員総選挙の際に、最高裁判所の裁判官がその職にふさわしいかどうかを国民が直接投票で判断する仕組み。	3. 検察官が行った不起訴処分の妥当性について、国民から選ばれた審査員が審査を行う仕組み。	4. 重大な刑事裁判において、国民から選ばれた人が裁判官とともに有罪・無罪や刑罰の内容を決定する仕組み。
問2	国会が持つ、国政に関する調査を行う権限（国政調査権）の内容として、憲法で定められている具体的な手段はどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 最高裁判所の裁判官が職務にふさわしいかを審査すること	2. 証人の出頭や証言を求め、記録の提出を要求すること	3. 地方自治体が制定した条例が法律に違反していないかを判断すること	4. 内閣総理大臣を指名し、閣僚の任命を承認すること
問3	ある年、10月に衆議院が解散されて総選挙が行われました。その後、11月に国会が召集されて内閣総理大臣の指名が行われたのちに閉会し、さらに12月には補正予算案を審議するために再び国会が召集されました。この年、11月と12月に召集された国会の種類の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 宮崎県公立入試 類似）			
	1. 11月：特別会、12月：臨時会	2. 11月：特別会、12月：常会	3. 11月：常会、12月：臨時会	4. 11月：臨時会、12月：特別会
問4	日本の国会において、衆議院と参議院で議決が異なった際、両方の議院から選出された委員が集まり、意見を調整するために開かれる会議を何といいますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 憲法審査会	2. 閣僚会議	3. 両院協議会	4. 予算委員会
問5	予算の審議や議決において、日本の国会では衆議院と参議院の両方で審議が行われますが、憲法により衆議院に特別な権限が認められています。その具体的な仕組みとして正しいものはどれですか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 予算の使い道を監視するために、衆議院議員のみで構成される会計検査院を設置する。	2. 参議院が予算案を否決した場合でも、衆議院で3分の2以上の多数で再可決すれば成立する。	3. 内閣から提出された予算案を、参議院よりも必ず先に審議し、採決しなければならない。	4. 衆議院で可決された予算案は、参議院の審議を経ることなく直ちに成立する。
問6	日本国憲法で定められている三権分立の仕組みにおいて、最高裁判所長官の選出方法に関する記述として正しいものはどれか。（2016年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 最高裁判所が指名を行い、その指名に基づいて天皇が任命する。	2. 国会が指名を行い、その指名に基づいて内閣が任命する。	3. 内閣が指名を行い、その指名に基づいて天皇が任命する。	4. 天皇が指名を行い、内閣の助言と承認によって国会が任命する。
問7	裁判の階層構造において、地方裁判所などの第一審の判決に不服がある場合に、高等裁判所などの第二審の裁判所へ申し立てる手続きを何といいますか。（2021年 山口県公立入試 類似）			
	1. 召喚	2. 控訴	3. 上告	4. 抗告
問8	日本の国会を構成する議院のうち、参議院議員の任期と選挙の仕組みについて述べた文として正しいものはどれですか。（2017年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 任期は6年であり、6年ごとに全議員が一斉に選挙を行う仕組みとなっている。	2. 任期は4年であるが、解散がないため必ず任期満了まで務めることとなっている。	3. 任期は6年であり、3年ごとに議員定数の半分を改選する仕組みとなっている。	4. 任期は4年であり、衆議院の解散が行われた際に同時に全議員が改選される。
問9	国会が制定した法律や内閣が決めた命令が、憲法の内容に違反していないかを裁判所が審査し、最終的に決定する権限のことを何といいますか。（2024年 三重県公立入試 類似）			
	1. 国民審査	2. 罪刑法定主義	3. 弾劾裁判	4. 違憲審査制
問10	日本の司法制度において、司法に対する国民の理解を深め、信頼を高めることを目的として導入された制度について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. 国民から選ばれた裁判員が、裁判官と共に刑事裁判の第一審に参加し、有罪・無罪や刑罰の内容を決定する。	2. 国民から選ばれた裁判員が、裁判官と共に民事裁判の第一審に参加し、損害賠償の額を決定する。	3. 国民から選ばれた裁判員が、最高裁判所で行われる上告審に参加し、法律が憲法に違反していないかを判断する。	4. 国民から選ばれた裁判員のみで構成される合議体が、地方裁判所での刑事裁判において有罪・無罪のみを決定する。
問11	日本の三権分立において、行政権を持つ内閣が、立法権を持つ国会（衆議院）に対して抑制を働かせる手段として憲法で認められている権限はどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. 衆議院の解散	2. 弾劾裁判所の設置	3. 内閣不信任の決議	4. 違憲立法審査権の行使
問12	刑事裁判の法廷では、中央の最上段に裁判官が位置し、その一段下に裁判の記録を行う裁判所書記官が配置されています。このような配置で行われる刑事裁判の仕組みと、裁判官の役割に関する説明として正しいものはどれですか。（2015年 山口県公立入試 類似）			
	1. 警察の捜査段階から関与し、被告人が犯人であるという確証が得られた場合にのみ公判を開始する。	2. 検察官と弁護人の主張を対等に聞き、証拠に基づいて有罪か無罪か、および刑罰の内容を決定する。	3. 被告人を弁護する立場として、検察官が提出した証拠の矛盾を突き、無罪を勝ち取るための活動を行う。	4. 国会の指名を受けて任命され、法律が憲法に違反していないかを判断する違憲審査のみを専門に行う。
問13	衆議院が解散された後に総選挙が行われる理由として、日本の議会制民主主義の仕組みから考えて最も適切な説明はどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 最高裁判所裁判官の国民審査を同時に行う機会を確保するため。	2. 任期満了を待たずに参議院議員の構成を新しくするため。	3. 内閣不信任案が可決された際、内閣がただちに総辞職する義務を免れるため。	4. 国の重要な方針について、選挙を通じて国民の意思を改めて問うため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 衆議院議員総選挙の際に、最高裁判所の裁判官がその職にふさわしいかどうかを国民が直接投票で判断する仕組み。	国民審査は、日本国憲法第79条に基づき、最高裁判所の裁判官に対して行われる制度です。衆議院議員総選挙の際、投票者は罷免すべきと思う裁判官の氏名の欄に「×」を記入します。罷免を可とする票が、罷免を可としない票よりも多くなった裁判官は、その職を解かれます。これは司法権の行使に対しても主権者である国民の意思を反映させるための重要な手段です。他の選択肢にある、刑事裁判に参加するものは「裁判員制度」、不起訴処分の審査は「検察審査会」であり、混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 2 証人の出頭や証言を求め、記録の提出を要求すること	国政調査権を行使する際、両議院は国政に関わる重要な事案について、証人を呼んで証言をさせたり、行政機関などに対して関係する記録を提出させたりすることができます。これにより、行政の不正を暴いたり、新しい政策の必要性を検討したりすることが可能になります。他の選択肢は、国会の指名権、国民審査、司法権の説明にあたります。
問3	答え 1 11月：特別会、12月：臨時会	衆議院解散後の総選挙を受けて11月に召集された国会は特別会となります。また、その後の12月に必要に応じて召集された国会は臨時会となります。
問4	答え 3 両院協議会	二院制を採用している日本の国会では、衆議院と参議院の意思が一致しない場合に、合意点を見出すための調整の場が設けられています。この会議は各議院から10名ずつの委員が選出されて構成され、非公開で行われるのが原則です。法律案の議決で意見が分かれた場合などに、慎重な審議と意見のすり合わせを行う役割を担っています。
問5	答え 3 内閣から提出された予算案を、参議院よりも必ず先に審議し、採決しなければならない。	憲法第60条には「予算は、先に衆議院に提出しなければならない」という「予算先議権」が定められています。これは、任期が短く解散もある衆議院の方が、より国民の最新の意思を反映していると考えられるため、予算のような重要事項については衆議院に優先的な地位（衆議院の優越）を与えているものです。また、両院の議決が異なった場合に開かれる両院協議会でも意見が一致しない場合は、衆議院の議決が国会の議決となります。
問6	答え 3 内閣が指名を行い、その指名に基づいて天皇が任命する。	日本国憲法第6条第2項の規定により、最高裁判所の長官は内閣が指名し、天皇が任命することになっています。天皇による任命は、内閣の助言と承認に基づく「国事行為」として行われます。一方、内閣総理大臣の場合は「国会が指名し、天皇が任命する」という仕組みになっており、混同しやすいため注意が必要です。
問7	答え 2 控訴	日本の裁判制度は、原則として一つの事件につき三回まで裁判を受けることができる三審制をとっています。この仕組みの中で、最初の判決（第一審）に納得がいけない場合に、二番目の裁判を求めて高等裁判所などへ申し立てることを控訴と呼びます。これに対し、二番目の判決（第二審）にも不服がある場合に、最高裁判所などへ申し立てることは上告と呼ばれ、用語が区別されています。
問8	答え 3 任期は6年であり、3年ごとに議員定数の半分を改選する仕組みとなっている。	日本国憲法では、参議院議員の任期を6年と定めています。また、一時に全議員が入れ替わることによる国政の停滞を防ぐため、3年ごとに定数の半分ずつを選挙で選び直す「半数改選」の制度が採られています。衆議院とは異なり解散がないことも大きな特徴です。
問9	答え 4 違憲審査制	日本の裁判所は、すべての法律や行政の行為が最高法規である憲法に適合しているかどうかをチェックする権限を持っています。この仕組みを違憲審査制（違憲法令審査権）と呼びます。国民が裁判官を直接やめさせるかどうか判断する「国民審査」や、不適格な裁判官を国会が裁く「弾劾裁判」とは明確に区別する必要があります。
問10	答え 1 国民から選ばれた裁判員が、裁判官と共に刑事裁判の第一審に参加し、有罪・無罪や刑罰の内容を決定する。	裁判員制度は、国民が司法に参加することで、裁判に国民の視点や感覚を反映させることを目的としています。この制度が適用されるのは、殺人などの重大な刑事事件の第一審（地方裁判所）に限られており、裁判官3名と裁判員6名が対等な立場で評議を行います。民事裁判や第二審以降の裁判は対象外です。
問11	答え 1 衆議院の解散	内閣が国会（衆議院）に対して持つ最も強力な抑制手段が「衆議院の解散」です。これにより、内閣は国民の信を問うことができます。選択肢にある「内閣不信任の決議」は国会から内閣への抑制手段であり、「弾劾裁判所の設置」は国会から裁判所への抑制手段です。
問12	答え 2 検察官と弁護人の主張を対等に聞き、証拠に基づいて有罪か無罪か、および刑罰の内容を決定する。	刑事裁判は、犯罪の疑いを受けて起訴された被告人に対し、検察官が有罪を主張し、弁護人がそれに対して反論や助言を行う形で進められます。裁判官は、法廷の中央で双方の主張や証拠を吟味し、最終的に法律に照らして判決（結論）を言い渡す審判者の役割を果たします。これにより、法に基づいた適正な手続き（デュー・プロセス）が保障されています。
問13	答え 4 国の重要な方針について、選挙を通じて国民の意思を改めて問うため。	衆議院の解散は、内閣と衆議院の対立が生じた際や、政権が重要な政策について国民の判断を仰ぎたいときに行われます。総選挙を通じて新しい議員を選び直すことで、現在の国民がどのような政治を望んでいるのかという「国民の意思」を確認し、それを国政に反映させることがこの制度の本質的な目的です。